

## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ポラテクノ

コード番号 4239 URL <http://www.polatechno.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安藤 誠

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 大山 高明

TEL 0255-78-4700

四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日

配当支払開始予定日

平成25年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	12,652	10.0	2,598	15.5	2,771	32.9	1,749	29.5
25年3月期第2四半期	11,497	△2.1	2,250	△15.8	2,085	△16.2	1,351	△12.8

(注)包括利益 26年3月期第2四半期 3,433百万円 (129.7%) 25年3月期第2四半期 1,494百万円 (△18.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	42.20	41.60
25年3月期第2四半期	32.59	31.66

当社は、平成24年10月1日付にて普通株式1株につき200株の割合をもって株式分割を行っております。このため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	31,638	25,284	79.5
25年3月期	28,962	22,446	77.1

(参考)自己資本 26年3月期第2四半期 25,149百万円 25年3月期 22,317百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	12.50	12.50
26年3月期	—	6.25	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	6.25	12.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,000	4.8	5,000	4.1	5,000	4.1	3,200	5.1	77.20

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	41,450,000 株	25年3月期	41,450,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	77 株	25年3月期	77 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	41,449,923 株	25年3月期2Q	41,450,000 株

(注)当社は、平成24年10月1日付にて普通株式1株につき200株の割合をもって株式分割を行っております。このため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビューは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループが関係するLCD業界では、主用途である薄型テレビの需要が低迷しており、大型LCDパネルの需給は緩和、価格は軟調に推移しました。しかし、中小型LCDパネルの需要は、スマートフォンやタブレットPC等の高精細のIT機器向けを中心に堅調でした。車載向けLCDパネルについては、国内や欧州の自動車生産は停滞気味でしたが、米国や中国では回復傾向となりました。また、フロントプロジェクターの生産は、中国向けや教育用途は増加傾向でしたが、欧州向けは軟調に推移しました。

このような環境の中、当第2四半期連結累計期間の当社グループの事業の状況は、全般的に円安により連結売上高が増加しました。光学フィルム事業におきましては、車載用LCDパネル向けの温度追従型楕円偏光フィルムや染料系偏光フィルムの売上高が増加しました。精密部品事業におきましては、無機偏光板Pro Fluxについては、通常の液晶プロジェクター向けの売上高は堅調に推移し、デジタルシネマ用は増加しました。また、X線分析装置部材については堅調に推移しました。

利益面につきましては、次世代製品開発のために研究開発費が増加、また、円安により海外発生費用が増加しましたが、一連の内製化や中国子会社への生産移管による生産コスト削減が増益に寄与しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は126億52百万円（前年同四半期比10.0%増）、営業利益は25億98百万円（前年同四半期比15.5%増）、経常利益は27億71百万円（前年同四半期比32.9%増）、四半期純利益は17億49百万円（前年同四半期比29.5%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ26億75百万円増加し、316億38百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加4億71百万円、受取手形及び売掛金の増加11億49百万円、有価証券の増加2億9百万円、商品及び製品の増加1億91百万円、原材料及び貯蔵品の増加1億25百万円、有形固定資産の増加4億73百万円であります。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ1億62百万円減少し、63億53百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の減少3億95百万円、長期借入金の減少2億37百万円、未払法人税等の増加2億74百万円、賞与引当金の増加1億82百万円であります。

当第2四半期連結会計期間末の少数株主持分を含めた純資産は、前連結会計年度末に比べ28億38百万円増加し、252億84百万円となりました。主な要因は、四半期純利益17億49百万円、株主配当金の支払による減少5億18百万円、為替換算調整勘定の増加16億64百万円であります。

#### キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、86億38百万円（前年同四半期は51億62百万円）となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、24億24百万円（前年同四半期は資金の増加8億61百万円）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益27億73百万円、減価償却費8億14百万円、売上債権の増加4億70百万円、賞与引当金の増加1億82百万円、法人税等の支払額8億63百万円であります。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、7億25百万円（前年同四半期は資金の減少12億45百万円）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出7億7百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は、7億23百万円(前年同四半期は資金の減少6億22百万円)となりました。主な要因は、長期借入金の返済による支出2億57百万円、配当金の支払額4億98百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は予測の範囲内で推移しており、平成25年5月8日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

今後、業績予想の修正が必要になった場合には速やかに開示いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。
- (4) 追加情報

（連結子会社の事業年度等に関する事項の変更）

従来、連結子会社であるデジマ テックB.V.、デジマ オプティカル フィルムズB.V.、無錫宝来光学科技有限公司、モクステック, Inc. 及びポラテクノ(香港)Co., Ltd. については、連結決算日である3月31日と異なる決算日の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については連結上必要な調整を行っていましたが、連結財務諸表のより適正な開示を図るため、第1四半期連結会計期間より、連結決算日である3月31日に本決算に準じた仮決算を行い連結する方法に変更しております。

なお、当該変更に伴う平成25年1月1日から平成25年3月31日までの3ヶ月間の損益については、利益剰余金の増減として調整し、キャッシュ・フローについては、現金及び現金同等物の期首残高で調整し、連結しております。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,130,521	7,601,874
受取手形及び売掛金	4,605,306	5,754,630
有価証券	842,429	1,052,203
商品及び製品	1,808,413	1,999,994
仕掛品	1,552,878	1,577,709
原材料及び貯蔵品	1,979,379	2,104,959
その他	973,297	1,085,428
貸倒引当金	△9,735	△11,554
流動資産合計	18,882,491	21,165,244
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,078,053	4,131,996
機械装置及び運搬具(純額)	3,339,401	3,579,525
その他(純額)	1,483,138	1,662,834
有形固定資産合計	8,900,593	9,374,355
無形固定資産		
のれん	194,209	104,829
その他	755,712	798,777
無形固定資産合計	949,921	903,607
投資その他の資産		
その他	229,426	194,800
投資その他の資産合計	229,426	194,800
固定資産合計	10,079,941	10,472,763
資産合計	28,962,432	31,638,008
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,771,890	2,375,912
1年内返済予定の長期借入金	515,000	495,000
未払法人税等	831,597	1,105,610
賞与引当金	257,970	440,143
役員賞与引当金	54,127	19,189
その他	1,000,963	987,964
流動負債合計	5,431,548	5,423,819
固定負債		
長期借入金	425,000	187,500
退職給付引当金	33,937	41,241
その他	625,763	700,757
固定負債合計	1,084,701	929,498
負債合計	6,516,250	6,353,317

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,095,125	3,095,125
資本剰余金	2,761,941	2,761,941
利益剰余金	18,044,309	19,211,774
自己株式	△26	△26
株主資本合計	23,901,349	25,068,815
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△1,584,317	80,636
その他の包括利益累計額合計	△1,584,317	80,636
少数株主持分	129,150	135,239
純資産合計	22,446,182	25,284,691
負債純資産合計	28,962,432	31,638,008



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
四半期連結損益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	11,497,621	12,652,497
売上原価	6,771,640	7,157,460
売上総利益	4,725,981	5,495,036
販売費及び一般管理費	2,475,608	2,896,469
営業利益	2,250,372	2,598,567
営業外収益		
受取利息	1,950	2,867
為替差益	—	141,745
その他	26,842	34,567
営業外収益合計	28,793	179,180
営業外費用		
支払利息	6,213	3,800
為替差損	177,728	—
その他	9,898	2,080
営業外費用合計	193,840	5,880
経常利益	2,085,325	2,771,867
特別利益		
固定資産売却益	—	28
持分変動利益	6,113	26,329
特別利益合計	6,113	26,357
特別損失		
固定資産除却損	10,117	24,490
特別損失合計	10,117	24,490
税金等調整前四半期純利益	2,081,321	2,773,733
法人税、住民税及び事業税	833,343	1,170,151
法人税等調整額	△112,989	△153,498
法人税等合計	720,353	1,016,653
少数株主損益調整前四半期純利益	1,360,968	1,757,080
少数株主利益	9,910	7,604
四半期純利益	1,351,058	1,749,476

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,360,968	1,757,080
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	133,878	1,676,298
その他の包括利益合計	133,878	1,676,298
四半期包括利益	1,494,846	3,433,379
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,483,326	3,414,430
少数株主に係る四半期包括利益	11,519	18,948

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,081,321	2,773,733
減価償却費	810,403	814,843
のれん及び負ののれん償却額	77,632	93,023
賞与引当金の増減額(△は減少)	175,727	182,173
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	8,000	△34,938
退職給付引当金の増減額(△は減少)	10,031	7,303
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△164	1,064
受取利息及び受取配当金	△1,950	△2,867
支払利息	6,213	3,800
為替差損益(△は益)	13,894	△150,374
有形固定資産除却損	9,734	12,552
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△28
持分変動損益(△は益)	△6,113	△26,329
売上債権の増減額(△は増加)	△1,134,524	△470,509
たな卸資産の増減額(△は増加)	△331,707	△43
仕入債務の増減額(△は減少)	△288,117	△45,730
前払年金費用の増減額(△は増加)	21,896	31,025
その他	115,694	100,692
小計	1,567,972	3,289,394
利息及び配当金の受取額	1,950	2,867
利息の支払額	△6,323	△3,913
法人税等の支払額	△725,061	△863,839
法人税等の還付額	22,970	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	861,508	2,424,509
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,245,217	△707,773
有形固定資産の売却による収入	—	184
無形固定資産の取得による支出	△358	△17,904
その他	134	△294
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,245,441	△725,788
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△220,000	△257,500
配当金の支払額	△402,548	△498,576
少数株主への配当金の支払額	△10,703	△10,865
その他	11,235	43,003
財務活動によるキャッシュ・フロー	△622,016	△723,938
現金及び現金同等物に係る換算差額	42,086	163,796
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△963,862	1,138,579
現金及び現金同等物の期首残高	6,126,102	7,959,800
連結子会社の決算期変更による現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	△459,420
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,162,240	8,638,959

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	光学フィルム 事業	精密部品 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,523,078	4,974,542	11,497,621	—	11,497,621
セグメント間の内部売上高 又は振替高	100,627	—	100,627	△100,627	—
計	6,623,706	4,974,542	11,598,249	△100,627	11,497,621
セグメント利益	899,889	1,350,482	2,250,372	—	2,250,372

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	光学フィルム 事業	精密部品 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,093,821	5,558,676	12,652,497	—	12,652,497
セグメント間の内部売上高 又は振替高	160,699	—	160,699	△160,699	—
計	7,254,521	5,558,676	12,813,197	△160,699	12,652,497
セグメント利益	1,357,210	1,241,357	2,598,567	—	2,598,567

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、従来、「光学部材事業」と「精密加工事業」の2つの報告セグメントとしておりましたが、セグメントの見直しを行い、第1四半期連結会計期間より「光学フィルム事業」と「精密部品事業」の2区分に変更いたしました。この変更は製造工程に基づく製品別のセグメントから、フィルム状製品と基板上形成製品等という製品形態別のセグメントに変更するものであり、この変更によって、セグメント内での製品管理の一貫性を向上させ、当社グループの事業内容をより明確に開示するためであります。

これに伴い、前第2四半期連結累計期間の報告セグメント情報を、変更後の報告セグメントの区分方法により組替えて表示しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。